

～平成21年度まちづくりパワー支援事業～

「ところ・笑顔の輪」づくり事業実施報告

「ところ・笑顔の輪」づくり実行委員会

09 笑顔の輪づくり実行委員会 事業報告

・実施した事業

- ① 認知症サポーター養成講座
- ② ところ商店街夕涼み広場
- ③ 常呂自治区・地域福祉づくり講座
- ④ 常呂自治区まちづくりフォーラム

以上、4つの事業を計画通りに実施しました。

実施した各事業について概略を報告します。

① 認知症サポーター養成講座

7月23日 いこいの家 講師 本見綾子

平成20年度の継続として実施。21年度は商店街の事業所を中心に参加を呼び掛けた。

認知症についての基本的な理解と、出会った時の対応などについて学んだ。

小学校での実施も検討したが、学校のスケジュールとの兼ね合いで、実現できなかった。常呂自治区には認知症サポーター養成講座の講師（キャラバンメイト）も数人います。今後も町内会や団体などからの講座の希望も考えられます。行政や地域包括支援センターなどと連携して、住民の希望に沿って実施できるように働きかけていきたい。

② ところ商店街夕涼み広場

8月12日 夢ふうせん駐車場

これも継続事業として実施。オホーツクの短い夏を楽しむ企画として、商工会や本通り町内会のみなさんのご協力をいただき実施した。

商店街の中の福祉事業所の駐車場を使って、地域住民の交流を図る場として実施。近隣の住民には定着した様子で、出あう者若男女がゆったりと会話する場面が多く見受けられた。いろいろな立場の人が地域社会に暮らしていることを理解するよい機会になっていた。

今後は会場になる場所も考慮しながら、地元の人材を活かす形で経費を掛けないで継続して実施できないか、周辺のみなさんと検討したい。

③ 常呂自治区・地域福祉講座

10月2日 いこいの家

講師 山口県平生町社会福祉協議会 福嶋事務長

テーマ「地域福祉は自治。支え合う地域づくり」

この講座では「若い」と「認知症」、「障害」などをキーワードに、当事者の方を地域で孤立しないように関係機関、同じ地域社会に暮らす人に何ができるか。

「あなたの力が必要」という生きがい、やりがいを創り出す地域の仕組み「つながり」と「循環」について具体的な実践例を紹介いただいた。

「自治型地域福祉」とは？

高齢であっても障がいがあっても、その人は個人（住民）として地域に暮らす主体である。そういう視点で地域の福祉を組み立てていくという話に共感できるものが多数ありました。

参加者の感想（一部を紹介）

- ・「誰からも必要とされないことが一番悲しい」という言葉が心に残った。悲しみを感じる人が一人もいない地域づくりに、何か手助けができればいいなと思った。
- ・人と人のつながりって大切だなあと、あらためて感じました。誰からも必要とされないなんて自分だったら悲しいし淋しいと思う。認知症や障害をもたれている人は、そういう気持ちになってしまう人が多いかもしれないですね。そんな悲しい気持ちにならないような環境を作れるように、何かできることがあれば、やっていきたいなと思いました。
- ・後期高齢者になってみると、お互いの交流が必要になる。北海道は割合、閉鎖的ではないと思うが、（平生町のような）昔からその土地に根付いているところの人たちは、戸を閉めて広いところには出ないものだと感じた。それを上手く誘導している平生町社協の方の腕の良さに脱帽。やはり誰かの役に立つのは必要だと思う。

④ 常呂自治区まちづくりフォーラム

「みんなでつくる・常呂の地域医療」

10月3日 常呂中央公民館

第一部 地域医療の今を知る

「北見市の地域医療対策の取り組みと住民課題について」
講師 北見市地域医療対策室長 五十嵐 俊啓さん

市内の医療機関の利用実態（コンビニ医療指向など）、医師の過酷な勤務状態についてスライド上映を交えて報告。

第二部 みんなでつくる・常呂の地域医療

パネリスト／常呂厚生病院・山下院長、特養のぞみの園・藤橋常務理事、夢ふうせんマイム・本見ホーム長、常呂総合支所・川南保健福祉係長

医療や福祉という話は当事者として必要に迫られない限り、その実情を知る機会は少ない。このフォーラムでは常呂の地域医療の要である常呂厚生病院の現状報告。さらには地域医療と福祉事業所の連携の姿などをパネリストによる意見交換の中で紹介。

健康、医療、福祉の連携（予防・治療・支援）の必要性を参加者は理解できたと思う。安心して暮らせる地域づくりのためにも、住民が積極的に病院とのつながり（信頼）を作っていく、このような話し合いの場を今後関係者の協力を得て組み立てられればと考えています。

参加者の感想（一部を紹介）

- ・ようやくできた常呂厚生病院の医師3名体制は、本当にありがたいと思っています。常呂自治区にとって必要不可欠ですので、このままの体制を尊重してほしいです。患者側の病院受診の姿勢も心して考えなくてはならないですね。また老人施設についても、せっかく地元にあるのですから住民に利用しやすい施設であってほしい。今後も連携を取り合ってほしいと思った。
- ・常呂の地域医療の連携が重要なものだと再認識することができました。このようなフォーラムの開催は意義があり、定期的に行い住民意識向上を図ることも大切だと思います。

● ご利用ください。

認知症サポーター養成講座、地域福祉講座、まちづくりフォーラムの様子を収録したDVDを報告用に用意しております。

興味のある方には貸出しますので、実行委員会までご連絡ください。

連絡先 実行委員会 浦西まで ☎ 54-2553



7/23 認知症サポーター養成講座



8/12 ところ商店街・夕涼み広場



10/2 常呂自治区・地域福祉づくり講座
～山口県平生町社協に学ぶ「支えあう地域づくり」～



10/3 常呂自治区まちづくりフォーラム
「みんなでつくる・常呂の地域医療」